

# 自閉症支援を変える10分／1日or1週間振り返りシート

ストップウォッチスタート 10分厳守！ 書ける部分だけ書く！ 完璧よりも最善と継続！

氏名	M・A			日付：XX / XX / XX (X)
				記録者：水野
<b>気になった行動</b> <small>※1日で気になった行動を1つ書き出す</small>	1対1の先生との勉強の場面で、以前やった形と色の教材で、指示では形の分類であったが、指示を無視して、以前やった色で分けて容器に入れる。			
<b>関連のある情報※</b>	<b>環境・状況の要因*</b>	<b>本人の特性の要因*</b>	<b>本人の気づきの要因*</b>	
この教材では2回程度色の分類課題をやっている。形の指示は他の材料ではやっているが、この教材では初めてである。	材料に2つの指示がある	<input type="checkbox"/> 受容コミュニケーションの特性 <input type="checkbox"/> 表出コミュニケーションの特性 <input type="checkbox"/> 社会性・対人関係の特性 <input checked="" type="checkbox"/> 全体よりも細部に注目する特性 <input type="checkbox"/> 整理統合の困難さ <input checked="" type="checkbox"/> 変化の対応の特性 <input type="checkbox"/> 関係理解の困難さ <input checked="" type="checkbox"/> 般化の特性 <input type="checkbox"/> 記憶の特性 <input type="checkbox"/> 感覚の特異性 <input type="checkbox"/> 微細運動・粗大運動 <input type="checkbox"/> その他 3つの特性が考えられるが、現時点では絞れない。又は全部影響しているかも。	同じ材料で色のマッチングの経験がある	
*の項目は、すぐ思いつくものだけ記入。考えすぎないようにしてください。				
1日の中のこれできた！	片足立ち（5秒）、新しい材料での形のマッチング、ビーズ通し			
1日の中のもう少し！	真っ直ぐの線をなぞる、滑り台の最後に足をつけて立つ			
難しかった				
その他の情報・資源・興味関心の発見	紙がヒラヒラと落ちる場面は何回も実施して興味をもっていた。			

支援の振り返り

うまくいった指示は？	写真の指示：同じように置くことができた
注目を助けた明瞭化	スケジュールをボードに2cm程度厚みをつけると注目がよく、エラーが少ない。
うまくいった整理統合	粘土を容器に分けてあげると自分の範囲が分かり片付きも自立的であった
うまくいったその他の工夫	
再構造化・再設定が必要な部分	色と形ある材料の課題は、指示の明瞭化の検討が必要。検討中

最後に深呼吸・・・支援は続きます。。。

※このシートは書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』を参考に書きだしてください。

※関連シート&ページ：特性シート（14～17頁）、氷山モデルシート（104～105頁）、自立課題シート（72～73頁）

※このシートは対象児・者1人の1日又は1週間1枚10分で書いてみてください。

※10分で書ける分だけ書いて終わってください（それでOK）。

※月に1回1カ月分をレビューして、重要なものだけ各種フレームワークシートにおこしてください。

例）自閉症・発達障害特性シート、構造化・支援シート、個人情報シート、生活支援シート

※このシートはTEACCH自閉症プログラムの構造化された指導とP（合格）・E（芽生え反応）・F（不合格）、氷山モデルの視点を参考しています。